

ときわ通信

文責；いわき市立湯本第二小学校長 小川幸一

「最後まであきらめるな！ それがぼくらの湯二小魂！！」

青空が広がった空の下、平成26年度湯本二小大運動会が、5月17日(土)に行われました。

運動会に向けてのPTA役員、環境ボランティアの皆さん、地域の企業の皆さんのご協力と臨時PTA奉仕作業による校庭整備により、当日は、ベストなグラウンド状態で運動会を行うことができました。当日は、朝7時からの運動会準備に、PTA役員の方々ばかりでなく有志の保護者の皆様もお集まりいただき、万国旗、入退場幕、テント、机、いすの設置が円滑に行われ、あっという間に会場が整いました。しかし、朝から風が強く、万国旗のロープが1本風によって切れてしまい、風の競技に与える影響が心配されました。テント設営に当たっては、くいでの固定のみならず、保護者の方々の機転により土嚢袋での固定も行い、これが、午後に吹いた強烈な風にびくともせず安全を保つことにつながり、本当に感謝しております。競技は、風によるハプニングにもめげず、児童も教職員も柔軟に対応しながら、安全にそして楽しく運動会を進めることができました。

今年のスローガンは、4年生の野月君が提案したものでした。スローガンのとおり、どの児童も最後まで一生懸命走ったり、演技をしたりすることができ、心に残る運動会となりました。1・2年生の「大玉転がれどこまでも」は、大玉が風に流されそうになっても必死で食い止めようとする姿が印象的でした。3・4年生は「スーパーサイコロステーション」で、2回目のさいころまでは1位だったにもかかわらず自分の投げたさいころで自分が戻らなければならなくなっても最後までゴールをめざす姿。5・6年生は、やはり「日渡しの決戦」での威風堂々たる帽子取り騎馬戦の勇士。さすが高学年生という感じでした。鼓笛パレードは、美しい隊列を保ったまま、主指揮者の指揮により華やかなものになりました。紅白対抗リレーは、やはり運動会の目玉。それぞれが学年の代表という自覚を持って、精一杯走りました。夢中になりすぎてバトンを落としたまま走ってしまう児童がおり、教員がバトンを届けるということもありましたが、誰も不平を言わず、応援を続けるという感動的なリレーでした。各係の児童は、それぞれの仕事をよく理解し、進んでお手伝いをし、感心でした。

運動会を通して、より一層友達との絆を深め、湯本二小の子どもという自覚と連帯感を持ってもらいたいと思います。保護者の皆様には、これまでのご協力に感謝いたします。



6月の行事

1日(月)視力検査(高)	16日(月)見守り隊総会および児童との顔合わせ会
3日(火)視力検査(中)	17日(火)プール開き
4日(水)視力検査(低)	19日(木)陸上大会激励会
5日(木)お弁当の日 陸上リハーサル大会	23日(月)読書の日
6日(金)事務所長訪問 クリーン作戦	24日(火)お弁当の日 陸上競技大会6年生
9日(月)眼科検診	26日(木)お弁当の日 スポーツテスト 陸上予備日
12日(火)集金日	27日(金)お弁当の日 スポーツテスト 陸上予備日

朝の交通指導とあいさつ

毎朝、各地区の交差点において児童の道路横断のための交通指導をしていただき、ありがとうございます。おかげで、これまで交通事故に巻き込まれることもなく、安全に登校しています。あいさつも、少しずつ元気にできるようになってきてはいますが、今後一層の指導の必要性を感じています。どうぞ、お子さんが家を出る時に、安全とあいさつについて一声かけてあげていただきますようお願いいたします。

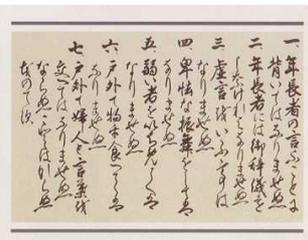


<児童の標語より>

おはようと げんきななかま いいえがお
 1年 中里圭吾 君
 「こんにちは」 そのひと言が 人結ぶ
 6年 松崎俊喜 君

やっではならぬ やらねばならぬ
 ならぬことは ならぬものです

これは、会津若松市で全小・中学校で指導されている約束事「あいづっこ宣言」の一文です。「ならぬことは ならぬものです」という一文は、実に社会の一員として生きるためには大切な考えだと思います。この約束は、もともと会津藩の子どもたちで



組織されていた「什」という生活集団の約束事である「什の掟」を基本として作られているということです。

あいづっこ宣言
 一人をいたわります
 二 ありがとう
 ごめんなさいを言います
 三がまんをします
 四 卑怯なふるまいをしません
 五 会津を誇り、年上を敬います
 六 夢に向かってがんばります
 やっではならぬ
 やらねばならぬ
 ならぬことは
 ならぬものです

本校の児童にも全校集会で人としての生き方の約束を話したところでした。

家族みんなで「早寝 早起き 朝ごはん」

世のお母さん、お父さんに自分の子どもがどんな子になってもらいたいかと質問すると次のような答えが返ってきます。

- 健康で丈夫な子ども
- 友達と仲良くし、優しい子
- 勉強ができる子 など

つまり、心と体と頭脳がよい子どもということです。そのために大切なのが「早寝 早起き 朝ごはん」。栄養と休養を十分取ること。脳が活発に働く時間帯に勉強などの活動をする習慣を身につけること。最も単純で重要な生活様式です。

無言清掃 ; 本校の自慢

本校のHPでも紹介しましたが、本校の清掃時間には私語をして清掃をしない児童がいません。これはなかなかできないことであり、本校の自慢のひとつです。掃除を一生懸命できる子どもは、心豊かで賢い子です。

これが、これからの本校の伝統として長く引き継がれていくことを望んでいます。ご家庭でも、手伝いなどをしてくれたときには大いにほめて感謝の心を伝えてやってください。

**見知らぬ人からの声かけにご注意！
 誘いにのらない、大声で助けを、早目の帰宅**